

第9期 小金井市地域自立支援協議会 部会活動報告

部 会 名	社会参加・就労支援部会
開 催 日 時	令和7年3月13日 ・ 18:00 ～ 19:10
記録担当委員	村松 広美
【協議概要】 『超短時間雇用に向けての取り組みについてのこれまでの要旨』 ① 市長による市内企業への要請 ② 市内企業への障害サービスの説明 ③ 新しい雇用の仕組みである事の説明(当事者、市内企業、小金井市、支援者の協力) ④ 広報戦略の具体案 - A 講演会の開催 B SNS 等による情報発信 - C 当事者セミナーの開催 D 障害者を雇っている企業からの提言 - E 市民への啓発活動 F 成功例を出しモデル化 『本日の主な意見』 ⑤ 市民へのアピール(横断的な広報の仕方) ・ 各広報でのアピール(SNS も使う) ・ 超短時間雇用の対象者を拡大(子育て中、高齢者等) ⑥ 集約センターについて ・ 新たなセンターを作るのは難しく『こころ』でセンター的な役割を担って頂きたい ・ 人と人とのつながり、コーディネート力が求められる。(今ちょっとだけやってもらえたら助かる→こんな仕事を見つける) ・ 就労準備も必要、働き慣れして貰う。就労準備事業者とのリンク ・ 人材不足の為ハローワークは難しい、他の就労支援センターとのコラボ ・ ボーバル氏より 西東京のエポック(基幹相談支援センター)や企業同友会へも協力を仰ぐ。多摩地区の就労支援センターとの協力 ・ 商工会、商店街組合、町づくり協会の会合でのアピール ・ 経済復興や町づくりセンターや企業の人事部との連携 ⑦ その他 ・ 採用が決定した場合、補助金制度があると良い ・ インセンティブも必要だが、当事者が自主性を持ち仕事をする、最初の理念が大事 【次回の開催日程】 令和7年5月14日(水) 17時から 前原暫定集会施設A会議室	